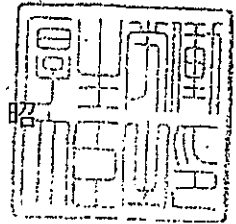


厚生労働省発食安0723第4号
平成22年7月23日

薬事・食品衛生審議会
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 長 妻



諮問書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、
下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

フルジオキシニル

平成22年8月18日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成22年7月23日付け厚生労働省発食安0723第4号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくフルジオキサニルに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

(別添)

フルジオキシソニル

今般の残留基準値の検討については、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しについて、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：フルジオキシソニル [Fludioxonil (ISO)]

(2) 用途：殺菌剤

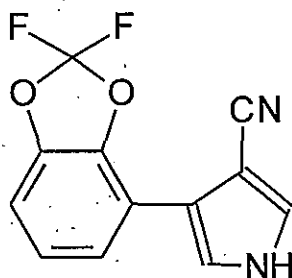
フェニルピロール系の非浸透移行性殺菌剤である。糸状菌の原形質膜に作用することにより物質の透過性に影響を及ぼし、アミノ酸やグルコースの細胞内取り込みを阻害して、抗菌作用を示すものと考えられている。

(3) 化学名

4-(2,2-difluoro-1,3-benzodioxol-4-yl) pyrrole-3-carbonitrile (IUPAC)

4-(2,2-difluoro-1,3-benzodioxol-4-yl)-1H-pyrrole-3-carbonitrile (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	$C_{12}H_6F_2N_2O_2$
分子量	248.19
水溶解度	1.8 mg/L (25°C)
分配係数	$\log_{10}Pow = 4.12$ (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用病害虫の範囲及び使用方法

(1) 国内での使用方法

① 5%フルジオキシニル水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数	
稲	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病	7.5倍 (使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30ml)	浸種前	1回	吹き付け処理 (種子消毒機使用)	1回	
		乾燥種籾重量の0.5%			種子粉衣 (湿粉衣)		
		200~400倍			24時間種子浸漬		
キャベツ	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	種子重量の0.3~0.5%	は種前		種子粉衣		3回以内 (種子粉衣は1回以内)
トマト							4回以内 (種子粉衣は1回以内、散布は3回以内)
ミニトマト							は種3日前まで
ほうれんそう				は種前			

② 20%フルジオキシニル水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数
いんげんまめ	灰色かび病 菌核病	1000~1500倍	100~300L/ 10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
さやいんげん				収穫前日まで			
さやえんどう		1000倍					
豆類 (未成熟、但し、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	灰色かび病	1000倍					

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	70%オキニルを 含む農薬の 総使用回数	
えだまめ	赤かび病	1000 倍	100～ 300L/ 10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
きゅうり	灰色かび病 菌核病	1000～ 1500 倍						
	褐斑病	1000 倍						
トマト	灰色かび病	1000～ 1500 倍					4 回以内 (種子粉衣は 1 回以内、 散布は 3 回以内)	
なす								3 回以内
いちご							炭疽病	
			たまねぎ	灰色かび病	1000～ 1500 倍	100～ 300L/ 10a		—
	1500 倍							
灰色腐敗病	500 倍	5 分間 セル苗 浸漬						
		500～ 1000 倍	5 分間 苗根部 浸漬					
	黒腐菌核病	500～ 1000 倍						
キャベツ	菌核病 株腐病	1000 倍	100～ 300L/ 10a	収穫 3 日前 まで	3 回以内	散布	3 回以内 (種子粉衣は 1 回以内)	
にら	白斑葉枯病	2000 倍		収穫 7 日前 まで	1 回		1 回	
ふき	灰色かび病	1000 倍		2 回以内	2 回以内			

③ 2.0%フルジオキシニル・7.6%塩基性塩化銅・12.0%ペフラゾエート水和剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病	200倍	浸種前	1回	24時間 種子浸漬	1回
	ごま葉枯病	乾燥種籾重量の0.5%			種子粉衣 (湿粉衣)	
	いもち病 もみ枯細菌病 褐条病 苗立枯細菌病 苗立枯病 (トリコデルマ菌) 苗立枯病 (リゾープス菌)				7.5倍 (使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30ml)	

④ 2.0%フルジオキシニル・12.0%ペフラゾエート乳剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数
稲	ばか苗病 ごま葉枯病 いもち病	200倍	浸種前	1回	24時間 種子浸漬	1回
		7.5倍 (使用量は乾燥種籾1kg当り希釈液30ml)			吹き付け処理 (種子消毒機使用)又は塗沫処理	

⑤ 23%フルジオキシニル水和剤・34%シプロジニル

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルジオキシニルを含む農薬の総使用回数
みかん	灰色かび病	2000~3000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 液量	使用時期	本剤の 使用回 数	使用 方法	フルジオキソニルを含む 農薬の 総使用回数
かんきつ (みかん を除く)	灰色かび病	2000~3000 倍	200~ 700 L/10a	収穫45日前 まで	2回以内	散 布	2回以内
ぶどう			300~ 400 L/10a	収穫30日前 まで			
	晩腐病	収穫45日前 まで					
うめ	灰色かび病 黒星病	3000倍					
たまねぎ	灰色かび病	1000倍	100~ 300 L/10a	収穫前日 まで	3回以内		4回以内 (定植前は 1回以内、定植後は 3回以内)

(2) 海外での使用方法

米国での使用方法

①25%フルジオキソニル水和剤

作物名	1回当りの 使用量	フルジオキソニルの 総使用量	使用時期	使用 間隔	使用方法
豆類 (ささげを除く乾 燥及び未成熟)	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7日	茎葉処理
根菜類 (てんさいを除 く)	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
根菜類及び塊茎類 の葉	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
あぶらな科葉菜類	11-14 oz/A 10-12 oz/A (うどんこ病)	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
クレソン	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫当日まで	7-10日	茎葉処理
葉菜類 (あぶらな科及び ほうれんそうを除 く)	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
たまねぎ類	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
	7-14 oz/A (白腐れ病)				植付時に処理
にんにく	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理
	7-14 oz/A (白腐れ病)				植付時に処理

作物名	1回当りの 使用量	フルジオキソニルの 総使用量	使用時期	使用 間隔	使用方法				
トマト類 (温室内の小型ト マトを除く)	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫前日まで	7-10日	茎葉処理				
うり類	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫前日まで	7-10日	茎葉処理				
かんきつ類	11-14 oz/A	0.22 lbs. ai/A	収穫当日まで	—	茎葉処理				
いちご	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫当日まで	7-10日	茎葉処理				
	5-8 oz/100 gal. 水(根、樹 冠の炭疽菌)			—	定植前 5-8 oz/100 gal. 水 に 2~5 分間浸漬				
ベリー類 ブッシュベリー類 クーンベリー類 ザイフリボク コケモモ サラル	11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫当日まで	7-10日	茎葉処理				
空中散布(カフォルニア)									
ぶどう					11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	21日	茎葉処理 空中散布(カフォルニア)
熱帯果樹類					11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫当日まで	7-10日	茎葉処理 空中散布(カフォルニア)
ピスタチオ					11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	14日	茎葉処理 空中散布(カフォルニア)
ハーブ類 (乾燥及び生)					11-14 oz/A	0.9 lbs. ai/A	収穫7日前まで	7-10日	茎葉処理

—: 使用回数が1回のみのため該当なし。

② 0.5%フルジオキソニル水和剤

作物名	1回当り使用量	フルジオキソニルの 総使用量	使用時期	使用方法
ばれいしょ (種いも)	種いも 100lbs 当り 0.5lb	種いも 100lbs 当り 0.0025lb ai (2.5g ai/100kg)	播種前	種いも処理

③ 21%フルジオキソニル水和剤

作物名	1回当り使用量	フルジオキソニルの 総使用量	使用 時期	使用 方法
にんじん、綿実、 ガーデンビーツ、 らっかせい、葉菜 類、ほうれんそう	種子 100lbs 当り 0.167 または 0.334fl. oz.	種子 100kg 当り 2.5 または 5g ai	播種前	種子 処理
だいず				
穀類:小麦、大麦、 ライ麦、オーツ麦、 そば、ライ小麦	種子 100lbs 当り 0.167~0.334fl. oz.	種子 100kg 当り 2.5~5g ai		

作物名	1回当り使用量	フルジオキサニルの 総使用量	使用 時期	使用 方法
その他の穀類：雑 穀、米	種子 100lbs 当り 0.167 または 0.334fl. oz.	種子 100kg 当り 2.5 または 5g ai	播種前	種子 処理
とうもろこし：飼 料用とうもろこ し、ポップコーン				
とうもろこし：ス イートコーン類				
飼料用マメ科植物				
マメ科野菜				
ソルガム				

3. 作物残留試験結果

(1) 分析の概要

- ① 分析対象の化合物
フルジオキサニル

② 分析法の概要

試料からアセトンで抽出し、ヘキサンもしくはジクロロメタンに転溶する。フロリジルミニカラムで精製後、ガスクロマトグラフ (NPD) を用いて定量する。

定量限界 フルジオキサニル：0.005～0.01ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で行われた作物残留試験結果については、別紙1-1、海外で行われた作物残留試験結果については、別紙1-2を参照。

なお、海外で行われた収穫後使用に係る作物残留試験結果については、別紙1-3を参照。

4. 家畜における残留試験

(1) 分析の概要

- ① 分析対象の化合物

フルジオキサニル及びその代謝物 (ベンゾピロール代謝物)

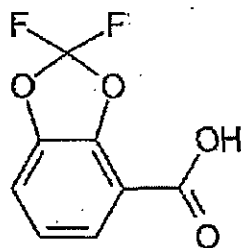
② 分析法の概要

試料からアンモニア水/アセトニトリルで還流して抽出し、酸性下でトルエンに転溶する。抽出液をそのまま、あるいはシリカゲル又はC18ミニカラムで精製した後、過マンガン酸カリウム・水酸化ナトリウム溶液として加熱し、フルジオキサニルとその代謝物 (ベンゾピロール代謝物) を代謝物K (2,2-difluoro-benzo[1,3]dioxole-4-carboxylic acid) に酸化する。酸化生成物を酸性下でジクロロメタンに転溶した後、シリカゲルミニカラムで精製し、カラムスイッチング HPLC (UV) を用いて定量する。

以下、代謝物 K については変換係数 1.23 を用いてフルジオキソニルに換算した値を示す。

定量限界 0.01ppm (筋肉及び乳)

0.05ppm (卵、肝臓、腎臓及び脂肪)



代謝物 K

(2) 家畜における残留試験結果

① 乳牛における残留試験

乳牛9頭 (各群3頭) に対し、飼料中濃度として、0.55、1.6、5.5ppm に相当する量のフルジオキソニルを28~30日間混餌投与し (食用部分の内臓の定量限界は0.05ppm、筋肉中の定量限界は0.01ppm及び乳汁の定量限界は0.01ppmであった。)、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び乳に含まれるフルジオキソニル及びベンゾピロール代謝物が、代謝物Kに変換して測定された。以下の残留濃度は、フルジオキソニルとフルジオキソニルに換算したベンゾピロール代謝物の合計濃度を示している。

結果については、表1参照。

表1. 組織中の最大残留量 (ppm)

	0.55ppm 投与群	1.6ppm 投与群	5.5ppm 投与群
筋肉	N/A	N/A	<0.01
脂肪	N/A	N/A	<0.05
肝臓	N/A	N/A	<0.05
腎臓	N/A	N/A	<0.05
乳汁	<0.01	<0.01	0.019 (投与14日)

N/A: 分析せず

上記の結果に関連して肉牛及び乳牛における最大理論的飼料由来負荷 (MTDB)^{注)} は0.07、0.06ppmと評価されている。

^{注)} 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden : MTDB) : 飼料として用いられるすべての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度

として表示される。

(参考：Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

② 産卵鶏における代謝試験

産卵鶏に対し、飼料中濃度として、89ppmに相当する量の¹⁴C-フルジオキソニルを1日1回、8日間、10mg/鶏/日の投与量で強制経口投与した結果(卵の定量限界は0.05ppm、筋肉の定量限界は0.01ppm及び各組織中の定量限界は0.05ppmであった。)、産卵鶏の卵、肝臓、腎臓、筋肉及び皮膚・脂肪に含まれるフルジオキソニルを含む同定済み残留物の濃度は、それぞれ0.26、0.046、0.070、0.036及び0.036ppmであった。

上記の結果に関連して家禽におけるMTDBは0.07ppmと評価されている。したがってMTDB相当濃度で産卵鶏における残留試験を行った時の残留濃度は、いずれもLOQを下回ると推定された。

5. ADIの評価

食品安全基本法(平成15年法律第48号)第24条第2項の規定に基づき、食品安全委員会にて意見を求めたフルジオキソニルに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

無毒性量：33.1mg/kg 体重/day
(動物種) イヌ
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 慢性毒性試験
(期間) 1年間

安全係数：100

ADI：0.33 mg/kg 体重/day

6. 諸外国における状況

2006年にJMPRにおける毒性評価が行われ、ADIが設定されている。国際基準は大豆、ブルーベリー等に設定されている。

米国、カナダ、欧州連合(EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査した結果、米国においてりんご、びわ等に、カナダにおいて大麦、ピーマン等に、EUにおいてりんご、ぶどう等に、オーストラリアにおいてばれいしょ、ぶどう等に、ニュージーランドにおいてぶどう、いちご等に基準値が設定されている。

7. 基準値案

(1) 残留の規制対象

農産物はフルジオキソニルとし、畜産物はフルジオキソニル及び代謝物Kに変換されるベンゾピロール代謝物とする。また、代謝物Kはフルジオキソニルに換算し、ベンゾピロール代謝物とフルジオキソニルの合計量を畜産物における残留

量とする。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価においては、農産物中の暴露評価対象物質をフルジオキソニル（親化合物のみ）と設定している。

また、JMPRにおいては、農産物はフルジオキソニル、畜産物はフルジオキソニル及び代謝物Kに変換されるベンゾピロール代謝物と設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限までフルジオキソニルが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大1日摂取量（TMDI））のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定の下に行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	7.1
幼小児（1～6歳）	14.0
妊婦	5.5
高齢者（65歳以上）	7.2

注) TMDI 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

なお、高齢者については畜産物の摂取量データがないため、国民平均の摂取量を参考とした。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け、厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

フルジオキシニル作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} 【フルジオキシニル】(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
水稻 (玄米)	2	5.0%水和剤	7.5倍希釈液 乾燥種籾重の3%吹き付け	1回	140日 171日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
水稻 (玄米)	2	5.0%水和剤	乾燥種籾重の0.5% 種子粉衣(湿粉衣)	1回	140日 171日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
水稻 (玄米)	2	5.0%水和剤	20倍希釈液 10分間浸漬	1回	140日 171日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
水稻 (玄米)	2	5.0%水和剤	200倍希釈液 24時間浸漬	1回	139日 170日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
いんげん (乾燥子実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	7月	圃場A:0.016 圃場B:0.062
いんげん (乾燥子実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.014 圃場B:0.009
キャベツ (葉球)	2	5.0%水和剤	種子重量の0.5% 種子粉衣(湿粉衣)	1回	80日 133日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
キャベツ (葉球)	2	5.0%水和剤の種子粉衣(湿粉衣) 1回 20%フロアブルの1000倍散布, 200L/10a 3回		合計4回	3, 7, 14日	圃場A:0.257(4回, 3日) (#) ^{注2)} 圃場B:0.304(4回, 7日) (#)
たまねぎ (鱗茎)	2	20%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:<0.005 圃場B:<0.005
たまねぎ (鱗茎)	2	20%フロアブル	500倍散布(苗浸漬処理1回) +1000倍散布(莖葉散布3回)	合計4回	1, 3, 7日	圃場A:0.005(#) 圃場B:0.014(#)
たまねぎ (鱗茎)	2	20%フロアブル	500倍散布(苗浸漬処理1回) +1000倍散布(莖葉散布3回)	合計4回	1, 7, 14日	圃場A:<0.01(#) 圃場B:<0.01(#)
にら (莖葉)	2	20%フロアブル	2000倍散布 150L/10a	1回	7, 14日	圃場A:0.63 圃場B:0.70
トマト (果実)	2	5.0%水和剤の種子粉衣(湿粉衣) 1回 20%フロアブルの1000倍散布, 300L/10a, 3回		合計4回	1日	圃場A:0.136 圃場B:0.690
トマト (果実)	2	5.0%水和剤の種子粉衣(湿粉衣) 1回 20%フロアブルの1000倍散布, 300L/10a, 5回		合計6回	1, 3, 7日	圃場A:0.172(6回, 7日) 圃場B:0.538(6回, 1日)
なす (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1日	圃場A:0.404 圃場B:0.468
なす (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A:0.236(5回, 1日) (#) 圃場B:0.660(5回, 1日) (#)
きゅうり (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300, 250L/10a	3回	1日	圃場A:0.416 圃場B:0.678
きゅうり (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300, 250L/10a	5回	1, 3, 7日	圃場A:0.451(5回, 1日) (#) 圃場B:0.701(5回, 1日) (#)
ほうれんそう (莖葉)	2	5.0%水和剤	種子重量の0.5% 種子粉衣(湿粉衣)	1回	38, 45日 28, 35日	圃場A:<0.005(1回, 38日) 圃場B:<0.005(1回, 28日)
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	2回	1, 3, 7日	圃場A:0.48 圃場B:2.02
さやえんどう (さや)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.71 圃場B:2.21
未成熟いんげん (さや)	2	20%フロアブル	1000倍散布 300L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.60 圃場B:0.734
未成熟ささげ (さや)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:0.90 圃場B:1.26
えだまめ (さや)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	1, 3, 7日	圃場A:1.7 圃場B:2.8
ふき (莖部)	2	20%フロアブル	1000倍散布 150L/10a	2回	7, 14, 21日	圃場A:0.72 圃場B:0.78
温州みかん (果肉)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400, 800L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:0.022 圃場B:0.023(3回, 21日) (#)
温州みかん (果皮)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400, 800L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:3.77(3回, 21日) 圃場B:3.84(#)
温州みかん (果肉)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400, 833L/10a	3回	7, 14, 28日	圃場A:0.01 圃場B:<0.01(#)
温州みかん (果皮)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400, 833L/10a	3回	7, 14, 28日	圃場A:4.32 圃場B:3.78(3回, 14日) (#)
なつみかん (果実)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 500, 400L/10a	2回	45, 60, 91日 45, 60, 90日	圃場A:0.26 圃場B:0.27
なつみかん (果肉)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 500, 400L/10a	2回	45, 60, 91日 45, 60, 90日	圃場A:0.006 圃場B:0.007
なつみかん (果皮)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 500, 400L/10a	2回	45, 60, 91日 45, 60, 90日	圃場A:0.876 圃場B:1.00

農作物	試験 圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm) 【フルジオキシニル】
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
すだち (果実)	1	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400L/10a	2回	44, 59, 90日	圃場A:0.014
かぼす (果実)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400L/10a	2回	45, 60, 90日	圃場A:0.058(2回, 90日)
ゆず (果実)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 735~833L/10a	2回	45, 60, 90日	圃場A:0.162(2回, 60日)(#)
うめ (果実)	2	23%顆粒水和剤	2000倍散布 300, 400L/10a	2回	45, 60日	圃場A:0.032(#) 圃場B:0.142(#)
ぶどう (果実)	1	23%顆粒水和剤	2000倍散布 300L/10a	2回	30, 45, 60日	圃場A:1.64(2回, 45日)
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	1回	1日	圃場A:0.460 圃場B:0.782
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	2回	1日	圃場A:0.810 圃場B:1.42
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1500倍散布 200L/10a	3回	1日	圃場A:0.724 圃場B:1.41
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	1回	1日	圃場A:0.789 圃場B:1.35
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	2回	1日	圃場A:1.20 圃場B:1.37
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	1日	圃場A:1.04 圃場B:1.47
いちご (果実)	2	20%フロアブル	1000倍散布 200L/10a	3回	1, 7, 14日	圃場A:1.94 圃場B:1.05
ぶどう (果実)	1	23%顆粒水和剤	2000倍散布 400L/10a	3回	7, 14, 21日	圃場A:1.25(3回, 7日)(#)

最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付している。

注1) 最大残留量：当該農業の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付け「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に関する意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない作物残留試験については、適用範囲内で実施されていない条件を斜体で示した。

フルジオキサニルの海外作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	11	フルジオキサニル 0.5% + マンゼブ 5.7% 7077#	フルジオキサニル 1.75g ai/100kg 種いも処理	1	126	圃場 A: <0.01
			フルジオキサニル 2.5g ai/100kg 種いも処理			圃場 A: <0.01
			フルジオキサニル 1.75g ai/100kg 種いも処理		124	圃場 B: <0.01
			フルジオキサニル 2.5g ai/100kg 種いも処理			圃場 B: <0.01
			フルジオキサニル 1.75g ai/100kg 種いも処理		93	圃場 C: <0.01
					142	圃場 D: <0.01
					110	圃場 E: <0.01
					130	圃場 F: <0.01
					99	圃場 G: <0.01
					105	圃場 H: <0.01
					100	圃場 I: <0.01
115	圃場 J: <0.01					
84	圃場 K: <0.01					
にんじん	1	フルジオキサニル 25% + シプロキシニル 37.5% 顆粒水和剤	合計フルジオキサニル 0.8985 lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A: 0.45
					3	圃場 A: 0.54
					7	圃場 A: 0.69
					14	圃場 A: 0.63
					21	圃場 A: 0.63
だいこん (根)	6	フルジオキサニル 25% + シプロキシニル 37.5% 顆粒水和剤	合計フルジオキサニル 0.470 lbs. ai/A 散布処理 合計フルジオキサニル 0.447 lbs. ai/A 散布処理 合計フルジオキサニル 0.442 lbs. ai/A 散布処理 合計フルジオキサニル 0.451 lbs. ai/A 散布処理 合計フルジオキサニル 0.452 lbs. ai/A 散布処理 合計フルジオキサニル 0.427 lbs. ai/A 散布処理	2	7	圃場 A: 0.13
						圃場 B: 0.09
						圃場 C: 0.11
						圃場 D: 0.08
						圃場 E: <0.01
					8	圃場 F: <0.02
					だいこん (葉)	6
圃場 B: 5.84						
圃場 C: 11.3						
圃場 D: 3.22						
圃場 E: 2.79						
8	圃場 F: 0.47					

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
ブロッコリー	7	フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	フルジメチン 0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	4	6	圃場 A: 0.10
					7	圃場 B: 0.11
					8	圃場 C: 0.25
					6	圃場 D: 0.27
					8	圃場 E: 0.20
					7	圃場 F: 0.53
	6	圃場 G: 0.36				
1		フルジメチン 0.884 lbs. ai/A 茎葉処理	4	8	圃場 A: 0.14	
キャベツ	6	フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	フルジメチン 0.206~0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	4	7	圃場 A: 0.27
						圃場 B: 0.21
			フルジメチン 0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	6	8	圃場 C: 1.20
			フルジメチン 0.354~0.367 lbs. ai/A 茎葉処理	4	6	圃場 D: 0.50
						圃場 E: 0.17
			フルジメチン 0.206~0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	7	圃場 F: 0.17(#)	圃場 A: 0.23
	圃場 B: 0.20(#)					
	フルジメチン 0.219 lbs. ai/A 茎葉処理		6	8	圃場 C: 0.09(#)	
	フルジメチン 0.354~0.367 lbs ai/A 茎葉処理		4	7	圃場 D: 0.08(#)	
					圃場 E: 0.03(#)	
	圃場 F: 0.17(#)					
	合計フルジメチン 0.901lbs. ai/A 茎葉処理		4	6	圃場 A: 0.10	
	フルジメチン 0.882lbs. ai/A 茎葉処理		4	7	圃場 B: 0.09(#)	
フルジメチン 0.926 lbs. ai/A 茎葉処理	4	6	圃場 C: 0.21(#)			
			圃場 D: 1.11(#)			
マスタード グリーン	7	フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	フルジメチン 0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	4	8	圃場 A: 7.74
					圃場 B: 0.64	
					7	圃場 C: 6.92
					圃場 D: 0.06	
					6	圃場 E: 0.50
					圃場 F: 1.23(#)	
フルジメチン 0.343~0.358 lbs. ai/A 茎葉処理	7	圃場 A: 1.28(#)				
マスタード グリーン	7		フルジメチン 0.219 lbs. ai/A 茎葉処理	4	8	圃場 A: 0.48
						圃場 B: 1.04

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
レタス (結球)	8	フルジホキノール 25% + シブロキノール 37.5% 顆粒水和剤	フルジホキノール 0.209~0.231 lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A: 1.23(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.217~0.220 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 A: <0.02(#) (結球部)
			フルジホキノール 0.210~0.221 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 B: 4.63(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.219~0.220 lbs. ai/A 茎葉処理	5		圃場 B: 0.25(#) (結球部)
			フルジホキノール 0.214~0.226 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 C: 2.05(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.218~0.225 lbs. ai/A 茎葉処理	4		圃場 C: 0.07(#) (結球部)
			フルジホキノール 0.213~0.235 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 D: 1.37(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.220~0.225 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 D: 1.44(#) (結球部)
			フルジホキノール 0.224~0.234 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 E: 2.18(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.224~0.321 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 E: 0.50(#) (結球部)
			フルジホキノール 0.217~0.219 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 F: 2.05(#) (結球部+外葉部)
			フルジホキノール 0.220~0.236 lbs. ai/A 茎葉処理	4		圃場 F: 1.62(#) (結球部)
						圃場 G: 0.42(#) (結球部+外葉部)
						圃場 G: 0.06(#) (結球部)
		圃場 H: 2.78(#) (結球部+外葉部)				
		圃場 H: 0.68(#) (結球部)				
レタス (非結球)	6	フルジホキノール 25% + シブロキノール 37.5% 顆粒水和剤	フルジホキノール 0.22 lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A: 23.44(#)
			フルジホキノール 0.217~0.223 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 B: 20.49(#)
			フルジホキノール 0.224~0.234 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 B: 10.32
			フルジホキノール 0.224~0.321 lbs. ai/A 茎葉処理		14	圃場 B: 10.09
			フルジホキノール 0.217~0.219 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 C: 7.12(#)
			フルジホキノール 0.220~0.236 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 D: 4.95(#)
					7	圃場 D: 0.81
					14	圃場 D: 0.20
		0	圃場 E: 11.23(#)			
		0	圃場 F: 5.98(#)			

農作物	試験圃場数	試験条件			経過日数	最大残留値(ppm)							
		剤型	使用量・使用方法	回数									
たまねぎ (green)	3	フルジメチン 50% 顆粒水和剤 + シプロジメチン 75% 顆粒水和剤	合計フルジメチン 0.996 lbs. ai/A 茎葉処理	4	7	圃場 A: 0.17 圃場 B: 6.6							
					0	圃場 C: 7.5(#)							
					1	圃場 C: 8.0(#)							
					3	圃場 C: 7.3(#) 圃場 C: 6.3(#)							
					7	圃場 C: 3.0							
					14	圃場 C: 1.9							
たまねぎ (bulb)	6				フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	合計フルジメチン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理	4	7	圃場 D: 0.04				
								1	圃場 E: 0.03(#)				
								3	圃場 E: 0.02(#)				
								7	圃場 E: 0.050				
								14	圃場 E: <0.02				
								6	圃場 F: <0.02(#)				
		7	圃場 G: <0.02(#) 圃場 H: <0.02(#) 圃場 I: 0.11(#)										
		たまねぎ (bulb)	3	フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤				合計フルジメチン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理	4	7	圃場 A: 0.10 圃場 B: <0.01 圃場 C: 0.02		
パセリ (生)	4									フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	4	6	圃場 A: 2.28
												7	圃場 B: 1.62
		7	圃場 C: 3.87										
		6	圃場 D: 3.15										
パセリ (乾燥)	4	フルジメチン 25% + シプロジメチン 37.5% 顆粒水和剤	合計フルジメチン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		4	6	圃場 A: 22.29						
						8	圃場 B: 8.87						
						7	圃場 C: 18.5						
						6	圃場 D: 15.23						

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数		
トマト (露地)	18	シブリン 37.5% + フルジカ 25% 顆粒水和剤	合計フルジカ 0.880 lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A: 0.0529(#)	
			合計フルジカ 0.886 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 B: 0.0897(#)	
			合計フルジカ 0.889 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 C: 0.155(#)	
			合計フルジカ 0.876 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 D: 0.229(#)	
			合計フルジカ 0.867 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 E: 0.0881(#)	
			合計フルジカ 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 F: 0.115(#)	
			合計フルジカ 0.902 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 G: 0.132(#)	
			合計フルジカ 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 H: 0.208(#)	
			合計フルジカ 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 I: 0.167(#)	
			合計フルジカ 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 J: 0.199(#)	
			合計フルジカ 0.866 lbs. ai/A 茎葉処理			0	圃場 K: 0.0517(#)
			合計フルジカ 0.892 lbs. ai/A 茎葉処理			3	圃場 K: 0.0324(#)
			合計フルジカ 0.878 lbs. ai/A 茎葉処理			7	圃場 K: 0.0456
			合計フルジカ 0.888 lbs. ai/A 茎葉処理			14	圃場 K: 0.0317
			合計フルジカ 0.904 lbs. ai/A 茎葉処理			0	圃場 L: 0.0342(#)
			合計フルジカ 0.890 lbs. ai/A 茎葉処理				圃場 M: 0.0489(#)
			合計フルジカ 0.904 lbs. ai/A 茎葉処理				圃場 N: 0.0661(#)
			合計フルジカ 0.873 lbs. ai/A 茎葉処理				圃場 O: 0.165(#)
合計フルジカ 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理	圃場 P: 0.156(#)						
合計フルジカ 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理	0	圃場 Q: 0.141(#)					
トマト (施設)			合計フルジカ 0.873 lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 Q: 0.158(#)	
			合計フルジカ 0.890 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 Q: 0.105	
			合計フルジカ 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 Q: 0.0995	
			合計フルジカ 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理			圃場 R: 0.144(#)	

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
きゅうり	7	シブリン 37.5% + フルシリン 25% 顆粒水和剤	合計フルシリン 0.880 lbs. ai/A 茎葉処理	4	1	圃場 A: 0.04
			合計フルシリン 0.872 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 A: <0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 B: 0.04
			合計フルシリン 0.881 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 B: 0.01
			合計フルシリン 0.881 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 C: 0.10
			合計フルシリン 0.857 lbs. ai/A 茎葉処理		8	圃場 C: 0.08
			合計フルシリン 0.881 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 D: 0.05
			合計フルシリン 0.881 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 D: <0.01
			合計フルシリン 0.857 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 E: 0.11
			合計フルシリン 0.857 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 E: <0.01
			合計フルシリン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 F: 0.13
			合計フルシリン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 F: 0.02
			合計フルシリン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 G: 0.05
			合計フルシリン 0.874 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 G: 0.06
スカッシュ	5	シブリン 37.5% + フルシリン 25% 顆粒水和剤	合計フルシリン 0.927 lbs. ai/A 茎葉処理	4	1	圃場 A: 0.01
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		6	圃場 A: <0.01
			合計フルシリン 0.873 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 B: 0.04
			合計フルシリン 0.889 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 B: 0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 C: 0.08
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		6	圃場 C: <0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 D: 0.08
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 D: 0.03
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 E: 0.02(#)
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 E: 0.04
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		3	圃場 E: 0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		5	圃場 E: <0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 E: <0.01
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		9	圃場 E: <0.01
カンタロープ	6	シブリン 37.5% + フルシリン 25% 顆粒水和剤	合計フルシリン 0.880 lbs. ai/A 茎葉処理	4	1	圃場 A: 0.03
			合計フルシリン 0.872 lbs. ai/A 茎葉処理		8	圃場 A: 0.03
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 B: 0.10
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 B: 0.02
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		0	圃場 C: 0.36(#)
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 C: 0.21
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		3	圃場 C: 0.20
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		5	圃場 C: 0.24
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 C: 0.16
			合計フルシリン 0.871 lbs. ai/A 茎葉処理		9	圃場 C: 0.14
			合計フルシリン 0.872 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 D: 0.14
			合計フルシリン 0.872 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 D: 0.19
			合計フルシリン 0.877 lbs. ai/A 茎葉処理		1	圃場 E: 0.52
			合計フルシリン 0.875 lbs. ai/A 茎葉処理		7	圃場 E: 0.14
合計フルシリン 0.875 lbs. ai/A 茎葉処理	1	圃場 F: 0.08				
合計フルシリン 0.875 lbs. ai/A 茎葉処理	8	圃場 F: 0.03				

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留値(ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数	
いちご	16	シブロン37.5% + フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ1.0lb ai/A 水に2~5分間浸漬	4	0	圃場 A:1.15
						圃場 B:1.01
						圃場 C:0.42
						圃場 D:0.90
						圃場 E:0.22
						圃場 F:1.17
						圃場 G:0.61
						圃場 H:0.52
ラズベリー	5	シブロン37.5% + フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ0.876lb ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A:1.12
ブルーベリー	8	シブロン37.5% + フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ0.876lb ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A:0.28
						圃場 B:0.16
						圃場 C:1.70
						圃場 D:0.58
						圃場 E:0.94
						圃場 F:0.68
						圃場 G:0.90
						圃場 H:<0.05(#)
綿実 (種実)	6	フルジカ40.4% 7077	5 g ai/100kg 種子	1		189 圃場 A:<0.05(#)
						152 圃場 B:<0.05(#)
						165 圃場 C:<0.05(#)
						132 圃場 D:<0.05(#)
						174 圃場 E:<0.05(#)
						188 圃場 F:<0.05(#)
アボカド	6	シブロン 37.5%+フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ0.869- 0.888 lbs. ai/A 茎葉処理	1	1	圃場 A:0.19
かぼちゃ	18		合計フルジカ0.857- 0.927 lbs. ai/A 茎葉処理	4	1	圃場 A:0.08
			6-7		圃場 A:0.03	
レモン	5		合計フルジカ0.219lbs. ai/A 茎葉処理	4	0	圃場 A:0.19
レモン	1	シブロン37.5%+ フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ0.90lbs. ai/A 茎葉処理	1	0	圃場 A:0.45(#)
					3	圃場 A:0.54(#)
					7	圃場 A:0.69(#)
					14	圃場 A:0.63(#)
					21	圃場 A:0.63(#)
からし菜	1	シブロン37.5%+ フルジカ25% 顆粒水和剤	合計フルジカ0.88lbs. ai/A 茎葉処理	1	8	圃場 A:1.04

農作物	試験圃場数	試験条件			最大残留値(ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数		経過日数
ぶどう	11	シブロン 37.5% + フルネキロン 25% 顆粒水和剤	合計フルネキロン 0.89 lbs. ai/A 茎葉処理	4	7	圃場 A: 0.18
	11				7	圃場 B: 0.36
	10				0	圃場 C: 0.49
					1	圃場 C: 0.56
					3	圃場 C: 0.38
					5	圃場 C: 0.48
					7	圃場 C: 0.29
					9	圃場 C: 0.39
					1	7
	1				7	圃場 E: 0.34
	10				0	圃場 F: 0.23
					1	圃場 F: 0.50
					3	圃場 F: 0.32
					5	圃場 F: 0.27
					7	圃場 F: 0.21
					9	圃場 F: 0.32
10		7	圃場 G: 0.31			
10		7	圃場 H: 0.31			
10	7	圃場 I: 0.57				
10	7	圃場 J: 0.20				
10	7	圃場 K: 0.21				
10	7	圃場 L: 0.56				

収穫後使用に係る作物残留試験

① 作物残留試験方法の概要

主に米国の州立農業試験場又は州立大学の付属施設で作物を栽培し、収穫した果実に防かび処理を施した後、分析機関でフルジオキソニルの残留量を測定した。試験に関与したすべての施設は、GLP 適合施設であった。

防かび処理は、水で規定の倍率に希釈したフルジオキソニル製剤をパッキングライン上又は箱詰め状態で果実の全面に塗布した。残留データを作成した作物は以下のとおりである。

(登録作物名)	(残留データを作成した作物)
かんきつ類	オレンジ、レモン、グレープフルーツ
核果類	もも、すもも、おうとう
仁果類	りんご、なし
キウイフルーツ	キウイフルーツ
ざくろ	ざくろ

② 作物残留試験結果及び米国の残留農薬基準

(A) かんきつ類

以下の表 A-1～A-4 の結果に基づき、米国におけるフルジオキサニルのかんきつ類の残留基準は 10ppm に設定された。

表 A-1. オレンジ

作物名 (品種) 年度	作物の収穫場所	使用回数	防かび処理量* 処理方法	分析結果 (mg/kg)**	
				最大値	最小値
オレンジ (パレンシア) 平成 13 年	米国 カリフォルニア 州	1	2.4g ai/L Dip 処理	3.39	2.21
	米国 フロリダ州	1	2.2g ai/L Dip 処理	1.56	1.28
	米国 カリフォルニア 州	1	2.4g ai/L Dip 処理	全果実: 2.99 果皮: 1.92 果肉: 3.35	1.41 0.55 0.92
	米国 フロリダ州	1	2.4g ai/L Dip 処理	0.96	0.85
	米国 カリフォルニア 州	1 +	2.4+2.4g ai/L Dip 処理	2.96	2.86
	米国 フロリダ州	1 +	2.2+2.4g ai/L Dip 処理	1.98	1.40
	米国 カリフォルニア 州	1	0.096g ai/kg 果実 Spray 処理	1.09	0.91
	米国 カリフォルニア 州	1	0.097g ai/kg 果実 Spray 処理	0.49	0.48
	米国 カリフォルニア 州	1 +	0.098+0.097g ai /kg 果実 Spray 処理	0.70	0.41
オレンジ (パレンシア) 平成 14 年	米国 カリフォルニア 州	1	0.002g ai/kg 果実 Spray 処理	全果実: 0.85 果 肉: 0.08	0.62 0.03
	米国 カリフォルニア 州	1	0.004g ai/kg 果実 Spray 処理	全果実: 1.0 全果実(洗浄 後): 0.19 果 肉: 0.11	0.90 0.06 0.05
	米国 カリフォルニア 州	1 +	0.29g ai/L Drench 処理 +	冷蔵 6 日後: 0.58	0.33
	米国 カリフォルニア 州	1	0.001g ai/kg 果実 Spray 処理	冷蔵 14 日後: 0.60	0.35
米国 カリフォルニア 州	1 +	0.61g ai /L Drench 処理 +	冷蔵 6 日後: 0.71	0.53	
米国 カリフォルニア 州	1	0.002g ai/kg 果実 Spray 処理	冷蔵 14 日後: 0.72	0.2	

*フルジオキサニル原体の含量を示す。

**特記しない限り、処理当日に無洗浄の全果実を分析した。